

教育覚聴視

月報

NO.5

発行日 31.10.10
 発行 岡崎市小中学校
 編集 視聴覚教育協会
 編集 視聴覚教育協会
 印刷 岡崎市明文寺町
 フラサ-孔版社
 Tel. 340 2592

△△研をどうすすめるか

— 中学社会の場合 —

中学社会科の部会では、地理、歴史、政経の三分野にわかれて、まず一単元の展開例をつくり、市としての統一カリキュラムはない、二年三年の使っている教科書も異なっているという状況のもとで仕事を進めるのだから、本来ならば、全体の構想に充分時間をとらねばならぬところを、日教の關係で、検討も不充分のまま、中間指導会まで一例をまにあわせていくのである。

もともと「展開例を」と聞くと「あ、またスコアとシーケンスが、そんな形式的なものをついて楽しんでいっているよ、暇はないよ、そんなことじゃなくて、例えば土一晩を我々はとらえらるか、そしてそれをどう教えたらよいか、というようなことを問題にしているんだ」と反撥をさえ感じていたのが、正直なところだった。

しかしこのようカリキュラムへの不信の念は、過五幾度か、研究発表として出された印刷物の成果であって、決して

カリキュラムそのものに罪のないことが、今回国研の指導を受けてわかった。又抽象的な教育の一般論を夢中になつて論議していても、或は電話帳のようなものを印刷してみても、現場は一歩も進まないことに気がついていいる我々に、何をすることが本場に役立つ勉強であるか、現場はどうすれば前へ進むことができるのかを明らかにしてくれた。

「どうしよう」といふことを、どのような見方で、どんな順序で、何を使って教えたらよいか、その一つ一つに具体的な内容を与えてみることにこそ、うわつた内容ではなくて、大変苦しい仕事だ、勉強しなればできないことである。しかし、それをやらなければ毎日か充実しないはずだし、毎日が充実しないような現場はいくら高い理想をかかげても前進してはくれない。現場の仕事はここからである。展開例をどう作るかというのは、そういう仕事をすすめるんだよ、だから、一年や二年ではできないでしょう」と言われて、展開例

例を思なおす気になつたわけである。

我々は本を読み、統計を用意し、これで教材研究ができたと考えて、授業にこれを互に持たせている。教材研究が、教材分析という言葉を多く使っているが、本場の教材研究は、生徒と対決する場まで具体化されることによって、はじめてきたと言えらるるのではあるまいか。そしてそれは、展開例を本気になつて作つてゆく仕事や、その過程で幾多の東洋を試みることにこそ、やらねばならぬ第一の仕事であるといえよう。

以上のような考え方によつて、今後の進め方を次のように話し合った。(於六名小学校)

やらねばならぬたくさん仕事は明確になつてきたが、まず、やれそうなおことから一つ一つすすめてゆこう。今学期中にどこまでできるかはわからないし、それをきめる必要もない。展開例の一行だけの書きかえに終つてもよい。形をととのえるよりも実のある会合をもつことだ。観察記録は細かく正確に授業を再現してくれるから、観察記録を色々な角度から検討するとよい。授業案の詳しいものを皆でつくるのもよい。これにはどうしても、見方、考え方、材料の取上げ方を具体的に示さなければならぬが、具体的に内容を与えてみるとアラがいっぱい出る。それを皆の知恵で少しでもよいものにしてゆくところ、又中身のある展開例や観察記録や授業案をつくらせ、それが多くの人の共感や反対をよくおこして、いろいろなところで学習がはじめられる契機ともなるだろう。(略)

歴史部会では、まず展開例の検討をしてその修正、補充をできるだけ詳しくやることにした。それには、できるだけ多く授業案をつくらせて、それをききあわせて見ながら、具体的なものに仕上げてゆく予定である。十月五日の第一回検討会には、さる十五日にプリント配布した原案に対して、次のような見方から修正補充の案を寄せて討議することになった。

- (1) 単元の目標は、その単元のむらゐを明確に打出しているか
- (2) 単元目標は、単元の目標を達成するためになくてはならぬものであるか
- (3) 目標に「何」とか「どうする」ということだけが書いてあつて、具体的内容を欠いてはいないか
- (4) 目標の前後の關係をみて、どうしても次にそれがこない学習がなりたないようなものが順序よく配列されているかどうか、すじが通っているか
- (5) 単元の目標が認けてしまつようなものがあつていたり、もつと満足しないと学習がと切れてしまつような荒っぽいものではないか
- (6) 目標が大体同次元のものでそろつているか
- (7) 学習活動が具体的に示されているか
- (8) 目標達成のためにもつとよい活動は考えられないか、それだけで充分か
- (9) 教材は目標及び学習活動に適切か
- (10) 教材は生徒の理解できるものか
- (11) 問題、目標、学習活動が構造的にかつちりくみ合つているかどうか
- (12) 映画、幻燈の内容に対する解釈はそれでよいか、与え方にはもつとよい方法はないか、……(未完)

10月教材映画

フィルム名 旅行平野(三〇分)
適用学年 小五年 社会

単元 日本のおもてなしと林業
内容

○前後平野の景観

・ 筑後川の狩長 水踏 干潟
・ 水に恵まれ 水に災いされる干潟

地 ○ 水害に耐える高田
○ 機械化された農耕作業
○ 副業と機械化との関係

・ 豊後 糸工品 瓦製造
・ 今製造
○ 機械化された収穫の様子
○ さらに進められる干潟作業

使用法
日本の農家経営の問題点について
考えさせる場合により教材となる。機械化が叫ばれているが、機械化の本質的なものについて考えさせることができる。

フィルム名 石巻時代の村(三〇分)
適用学年 小六年 社会

単元 政治のうつりかわりと人々の生活
内容

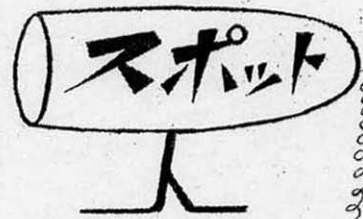
神奈川県南堀附近の高台にある古代村落の発掘を記録し、解説したものである。

○ 南堀附近の地勢の概略を線画と実写で説明する
○ 三〇〇〇カ所ものボーリングや電流による綿密な調査が行われる
○ 縦溝にいく本もの溝が掘られ、土器や石器が発見され、住居跡も姿をあらわす

○ 出土品の取扱い
○ その頃の人々の生活を想像した線画
○ 発掘後の整理
使用法
大昔の頃の人々の生活について調べ、場合の教材の一つとして、地図、参考書と併せ使用する。

即ち南九州、南四国、近畿南部の共通の地理的条件や、そこで営まれる林業、漁業、狩猟農産の現状をとらえさせ、地域の特色を生かした生産活動を理解

降り続く雨にぬかるみになった運動場を根柢し、そこに黙っている。退屈のききに何回も読んだ雑誌を見ている目。精力余って教室内をぐるぐる回っている姿が、少しの雨間をみて、蛙の子のようにしびきをあげてとび出す。



に承る自動車が苦になり、注意して見ると、ライ斯拉リーの車以外は全部と言つていいほど、直線コースを疾走して来る。

その車から降りて来る人には、責任はなきそうに思われるが、肩書の名刺や、細心なご忠告も、たった五十米の直線コースの水しぶき

のために、効力が半減し、いや時にはおつりがいく。



その運動場に自動車が発料節約とでも言いたげに、最短距離を走つて来ると、今叱られた蛙の子が「なんだ、自動車は真中をくちやに走ってくやがった。」と、一本鋭く面をとる。

以来、雨降りに学校の玄関の方

フィルム名 水の循環
 適用学年 小四年
 単元 水のはたらき
 内容

○水の循環全体の図解
 ○空気中の水の循環

・水の蒸発 飽和 降下
 ・霧 雪 雨のでき方
 ・不連続面にわか雨

○地表の水の循環
 ・水の流孔の変化
 ・地下水と植物
 ・洪水と水の調節

○水の循環
 川の水は、とんぱに土地の形をかえるか、水はどんなに利用されているか、などを視点として使用されたい。

フィルム名 木の着物 石の着物 (二〇分)

使用学年 中二年
 内容

○衣料の歴史

・麻がら絹 木綿と変遷してきたよ
 うす

○木のきもの

・ビスコース式人造繊維の製造過程
 ・(バルフロー)アルカリセルロース

↓ビスコース↓人絹
 ・スフの製造過程
 ○石のきもの

・石灰岩と石灰を主原料とした新合成繊維(ニロン)(日)の製造過程
 (石灰岩・石灰) ↓カーバイト
 ↓アセチレンガス ↓醋酸ビニール ↓トリビニール・アルコール ↓紡績)

・ビニールの製法

△ 中学校 V

フィルム名 黒潮の洗う地方 (二〇分)
 適用学年 一年 社会
 単元 日本の農業 林業 漁業
 (西南日本)

内容

1. 黒潮の洗う地方 (概観)
2. 漁業に生きる人々
3. 温暖地方の農業
4. 山の人々の生活 (四国)
5. 吉野の林業
6. 交通の不便な地方
7. 台風の通り道
働きつづける人々

使用法
 この映画全体が、黒潮の洗う地方

昭和三十一年度一学期

社会科フィルム使用状況

小学校	使用学校数					使用日数				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
角の取れるまで	9	9	6	5	2	18	18	10	5	2
お母さんの仕事	9	3	0	0	0	12	22	4	2	0
火事をなくすは組	2	0	0	0	0	4	14	11	5	4
海上輸送	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0
漁村のくらし	8	2	3	3	13	4	0	5	3	7
警察の仕事	2	1	0	0	0	3	17	4	0	0
工業とその資源	5	5	6	0	16	8	14	1	0	0
小売店の仕事	5	3	5	0	14	7	8	4	4	30
裁判のはたらき	1	0	0	0	1	1	7	0	7	8
産業と電力	0	2	3	0	5	0	3	0	0	2
新聞のはたらき	1	2	0	0	3	0	4	3	0	1
児童会	4	0	5	2	11	10	0	4	5	8
青果市場	2	1	3	1	7	6	10	2	0	0
炭坑の人々	6	7	5	0	18	11	2	17	0	0
手工業	2	3	4	0	9	4	7	0	7	0
鉄道電化	0	0	2	3	5	0	4	0	4	3
電信のはたらき	2	0	1	0	3	0	4	1	2	0
都市と水道	4	5	3	0	12	13	8	0	0	0
道路のはたらき	3	0	0	0	3	5	13	0	0	0
流れ作業	2	5	6	15	30	2	3	8	0	0
発電所	1	3	0	0	4	2	3	8	0	0

中学校	使用学校数					使用日数				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
坊やの世界一闘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゆづびん	3	2	3	0	2	5	0	5	0	8
私たちの学校	1	1	2	0	4	1	1	2	0	0
中央校	1	1	0	0	2	1	1	1	0	4
開発を待つ地点	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
機械化は進む	1	3	1	0	5	1	1	0	0	4
黒潮の洗う地方	3	3	0	0	6	7	0	7	0	11
産業と電力	0	2	3	0	5	0	2	0	3	8
首都東京	2	0	1	0	3	2	0	0	0	16
新風土記	2	0	3	0	5	0	4	0	0	9
水害対策	0	3	0	0	3	0	0	0	0	5
生活と塩	0	2	3	0	5	0	7	3	0	10
石器時代の村	3	1	1	0	5	0	0	0	0	12
たんぼの水	2	1	1	0	4	3	1	4	0	10
段々畑の人々	1	4	6	1	12	1	2	2	1	18
筑紫平野	4	4	4	0	12	4	10	11	4	20
通債	3	2	3	0	8	3	5	9	1	17
月の論古墳	1	0	3	0	4	0	2	7	0	10
利根川	2	4	3	0	9	1	3	5	0	14
日本のテニスマチ	3	3	3	0	9	0	1	5	0	18
北陸ののづら	0	4	1	0	5	0	0	0	0	11

巡迴映画番組

A番組

立の上

六巻

日本武道大鑑

二

レポート五号

一

摩天楼の曲芸師

一

B番組

雪祭と子供達

三巻

躍進工チオピア

一

名犬捕物帖

二

毎日ニュース

一

C番組

小さな探偵たち

六巻

レポート六号

一

ポパイ西部の王者

一

ストーリー

◎立の上……一巻とファミは母一人子一人、父は戦死してなく

ファミは奮しじながら、娘の一夜

をこの番高校を卒業させる。一

夜は就寝して母を助けたいと念

するが、片親を理由に担任森山先生の努

力も無駄、との会社も不採用と決定、く

ちひるを噛んでなげく。一巻は母を思

ふあまり暗い気持ちになり、かえって母を苦

しめる。然しこの貧しい二人きりの家庭

にもやがて明るい光がさしこんで来る。

通勤者の群に母子の笑顔が見られ、工

場、のサイレンが鳴っている。

◎日本武道大鑑……日本古代の武士道照

介。

◎レポート五号……戦時中米軍へ持ち去

られた千草原大原町の吊鐘がめでたく日

本に還された話と、海を越えてアメリカ

に贈られた東照宮の石燈籠の話。

◎摩天楼の曲芸師……こたごたした事務

所や地上で働くよりは、摩天楼の上で

窓掃除をした方がましだという窓掃除夫

の仕事ぶりを紹介した面白い映画です。

◎雪祭と子供たち……新潟県十日町市で

は二月になると町をあげて雪祭を行う。

子供も青年も大人も、人々の生活を暗く

おしひぐ雪に、楽しくいとむ。祭が終れ

は身近し。

◎躍進工チオピア

◎名犬捕物帖

◎毎日ニュース

◎小さな探偵たち……東京のおばを尋ね

て上京した徳夫は車中で、上校の内ボケ

ツトにピンで止めておいた金をすられる。

チヨコレットをくれた山高帽のおじいさ

んが、あやしい！、すぐ後を追ったが地下

鉄で見失ってしまった。とほろにくれた

徳夫は妹と新聞売りをしている勇吉少年

に話し仲を築めてくれた。少年たちは

大はりきり、スリル満点の追跡の決果。

合研々究計画の具体化成る

八月末、研究會の一部が上京して、前

に提出してあった研究物について、国研の

指導を受けて帰ったことから、再び研究

が活発となり、研究計画が一層具体的に

なつて来た。極く簡単に紹介すると

○計画

・九月上旬、上京者の第二次中間指導の

報告會

・各学年別研究部會の発行

・十月上旬、国研大野先生による第三次

中間指導會

・十月中旬に各学年部會は研究内容をまと

める。

遂にお金を取りかえすことが出来た。パ

ンサイ。

◎レポート六号……ニューヨーク市にあ

るライ専門の大病院に無償で奉仕してい

る約三百人の篤志家の働きぶりを示す、

病院篤志家」と同じニューヨークロンク

アイランドのフリーポート警察の少年ク

ラフの活動を紹介しています。このクラ

フは町の少年のためにスポーツや娯楽な

どを催して町の色に尽しているのです。

◎ポパイ西部の王者……まんが。

・十一月中旬、各学年の研究内容を整理

して、報告書にまとめる。

・十二月上旬、研究報告會を開催する。

○内容

・展例と実践記録が研究の中心である

・ことは従前通り

・展例は内容が筋の通ったものにする

・実践記録は必要に応じてとり、客観的

な資料となり得る

・報告書の内容は、研究の過程が中心で

ある。

皆様方の御援助により、月報五号を発

行出来まことに喜んでおります。

合研も一歩一歩と進み、近い日に視聴

覚にも新しい面が拓かれることとおも

います。

月報も合研の歩み、又教材映画の内容

等お知らせする際努力していますが、紙

面の都合上充分でない手を残念に思っ

ています。より効果的な、しかも親しみ

やすい視聴覚月報として育てて行くため

の調査部では皆様方の御意見をお待ち致

しております。

